

まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり VOL-9

泉佐野市議会議員

ちよまつ ひろやす
千代松 大耕 (28歳)



「2002年の幕開けにあたり、私は「泉佐野市の未来を救うための改革は、早くしないと手遅れになる」という問題意識のもと、泉佐野市のシステム変革こそ主眼と考えて、より一層建設的に活動をおこなってゆく決意であります。昨年は混迷する時代を象徴するかのよう暗いニュースばかりでありました。年末の内親王殿下のご誕生が唯一の明るいニュースであったかのように思われます。新世紀の洋々たる未来に向けてお健やかに成長されることをお祈り申し上げます。また供用開始の3年延期等が議論されていた関空の2期工事でありますが、14年度の国家予算において予定通り2007年の供用開始のための事業費が盛り込まれ、2期工事を積極的に推進する立場にある私は、ほっと胸を撫で下ろす次第であります。私は2001年を振り返ってみると「すいぶんやり残したなあ。」と感じています。

2002年に持ち越した自分自身への課題は多くありますが、わたしたちの泉佐野市にも課題が山積しております。「財政問題」「行政改革」「教育問題・改革」「環境問題「まちづくり」…」。「泉佐野市に夢と希望はあるのか?」とよく問いかけてられます。しかし私は絶望していません。「泉佐野市の未来」に對し、わたしたちひとりひとりが問題を意識し、それぞれの立場を理解した上で、自分なりに貢献してゆく、第一歩としてそんなネットワークを広げてゆくことが希望につながります。また「細部にこそ神が宿る(中坊公平)」の言葉どおり、具体的な改革の積み重ねこそ大きな変革につながります。泉佐野市全体の利益を考え、進むべき方向をしっかりと見据えた上で、日々の身近な実践に活かしていきます。

2002年も泉佐野市全体・社会全体のことを考える「議員」として全力で活動し、多くの方々から夢と希望を託していただけるように精進を重ねることを皆様にお約束いたします。

1 2 月 定 例 議 会

泉佐野市は昨年、財政再建準備団体転落の危機的な状況を回避するため「泉佐野市行政改革推進計画・第2次実施計画(案)」を発表しました。12月議会においては、その計画の中にある公共料金の改定案が争点となりました。

今回の議会において上程されたのは、市税の前納報奨金、文化会館の使用料、幼稚園保育料、市宮駐輪場使用料、下水道の使用料の改定案が上程されました。一部の公共サービスに對して、市民全体が負担してそのサービスを維持してゆくのではなく、公共サービスを受益されている方々によって負担してもらおうという「受益者負担の観点」と再建団体転落を回避するための今回の料金改定案でありました。右肩上がりの経済情勢のもとでは「あれも、これも」という行政サービスが行えませんが、近年の社会経済情勢の急激な変化や厳しい地方財政状況、特に泉佐野市におきましては財政が市民のみならず周知のとおり危機的な状況にあります。「あれも、これも」ではなく、「あれか、これか」の選択に急を要する時であります。

今後、疲弊してしまった20世紀型行政システムから脱皮して、新しい「21世紀型行政システム」を構築していくためには、この「受益者負担」という言葉が行政改革にとってはキーワードとなることは間違いありません。また再建団体に転落してしまえば、今回上程された案以上の厳しい料金改定が強いられるであろうという認識のもと、この料金改定案に對しては理解をして参りましたが、市税の前納報奨金以外は否決となりました。

議会一般質問

競輪・競艇・競馬などの地方公営競技から、レースを主催する地方自治体が長引く不況のもとでの赤字経営を理由に撤退するケースが相次いでおります。2001年度限りで公営競技から手を引く自治体は共同開催を含み34団体にのぼります。門司競輪、新潟競馬、西宮・甲子園競輪などが撤退しますが、その中には泉佐野市を含む阪南三市競輪組合(泉佐野市・貝塚市・泉大津市)も含まれております。撤退する自治体の中には撤退に係る費用を一般会計から補填して撤退する自治体もあると聞いておりますが、財政が危機的な状況にある泉佐野市においては一般会計から補填して撤退する余裕がありません。そういった問題点が数多くあることから、今回の議会において自由民主党泉佐野市会議員団を代表して泉佐野市が二部事務組合(注一)に参加している公営競技について質問いたしました。

阪南三市競輪組合のCM

千代松: 現在の撤退における状況はどのようなになっているのか?

答弁: 阪南三市競輪組合の競輪事業からの撤退問題の進捗状況は大きな課題である、従事員組合と離職慰労金問題などで協議を重ね、概ね解決への合意が得られている。今後は岸和田市との協議をはじめ撤退に伴う、残された課題について、三市連携のもと、事業運営基金の範囲内で解決に向けて努力していく。

千代松: 現在の基金の積立額はいくらになっているのか?基金の範囲内での解決の見通しは?

答弁: 12年度末での基金積立額は約14億9500万円あり、撤退に伴う従事員離職慰労金や今年度の赤字見込額を勘案しても、

基金の範囲内で解決できる(一般会計からの補填なし)ものと考えている。

大阪府都市競艇にこころ

千代松:

泉佐野市が一部事務組合に参加しているもう一つの公営競技である大阪府都市競艇組合の現状はどのようになっているのか?

答弁:

競艇事業における現在の状況については平成12年度の総売上額が約737億円で前年度比22%の減少となり、本組合構成市への収益配分金が初めて0円となった。長引く景気の低迷や消費の停滞が大きな要因である。こうした状況から今後とも集客増加への方策の検討や、効率的な事業運営を図りながら経営改善に取り組んでいく。

千代松:

施設借上料が非常に高いとも聞く。経営改善へ向けての具体的な取組みは?

答弁:

事業継続のための見直しとして、従事員関係では退職者の不補充や日当の見直し、委託関係、選手賞金、施設借上料の見直しなど財政健全化に向け、取組みを行っている。

(注)一部事務組合…2つ以上の地方公共団体が、その事務の一部を共同処理するために設ける特別地方公共団体(地方自治法第284条)

泉佐野市議会改革に関する協議会

21世紀の泉佐野市に多くの市民のみならず夢と希望を持てるためには、なんとしても財政再建団体転落だけは阻止しなければならぬ。またその負担を市民のみならずだけに押し付けてはならない。議会が率先してさまざまな改革に取り組んでいくべきである、という共通意志のもとで私の所属する自由民主党泉佐野市会議員団は昨年より議員報酬の削減を提唱して参りました。昨年の11月には友好会派の市民ネットワーク(戸野茂議員)とともに、岡田議長に対して「報酬カット」「定数削減」を申し入れました。12月議会には議長の提案で「泉佐野市議会改革に関する協議会」が設置され、会期中の12月14、17、18日と3日間に渡って協議を重ねた結果左記の事柄が後半の12月議会に追加で上程され賛成多数のもと決定いたしました。

職員給与

泉佐野市行政改革推進計画第2次実施計画では、財政健全化へ向けて職員給与の昇給延伸36ヶ月間(12ヶ月延伸は平成13年に実施)が計画中にありましたが、12月の組合交渉の結果、引き続き平成14年も昇給延伸を実施し、合計で24ヶ月間の昇給ストップと平成15年～17年まで給与の3%をカットすることが決定しました。昇給の延伸は若い市職員に将来的に大きな影響を及ぼします。よって昇給延伸の合計を24ヶ月間にする代わりに再建計画期間中の残りの3年間給与を3%カットすることで計画の数字に合わせるようになりました。



『議員報酬』

平成14年～平成16年までの3年間、3月に支給する期末手当については支給しない(年収の3%分に相当)

『定数』

定数を二名削減し、議員定数を23名とする

あたらしいまちづくり(8)

南海連続立体交差事業

12月11日(火)に行われました関空問題対策特別委員会におきまして、南海連続立体交差事業の現状報告がなされました。この事業は、空港開港やりんくタウンの整備の進捗に伴う交通量の増加による交通渋滞の弊害をなくし、空港の玄関口としての都市機能を高めるために着手されました。なんば方面行の高架化は今年の5月完成予定であります。高架事業が完成すれば、踏切の待ち時間が解消され人や車の流れがスムーズになり、まちづくり事業の促進に大きな役割を果たします。

(泉佐野駅イメージ図)



泉佐野市議会議員選挙の日程決まる!

ちなみに泉佐野市の市議会議員の任期は今年の5月23日までです。

- 4月2日(火) 候補者説明会
- 5月12日(日) 告示
- 5月19日(日) 選挙

千代松大耕プロフィール

昭和48年10月3日泉佐野市松原生まれ(28歳)
泉佐野市議会議員 自由民主党泉佐野支部政務調査会長

連絡先 泉佐野市松原2-5-31 TEL.58-1708 FAX.63-1222
2002.1第9号 *「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
メール chiyoma51@hotmail.com